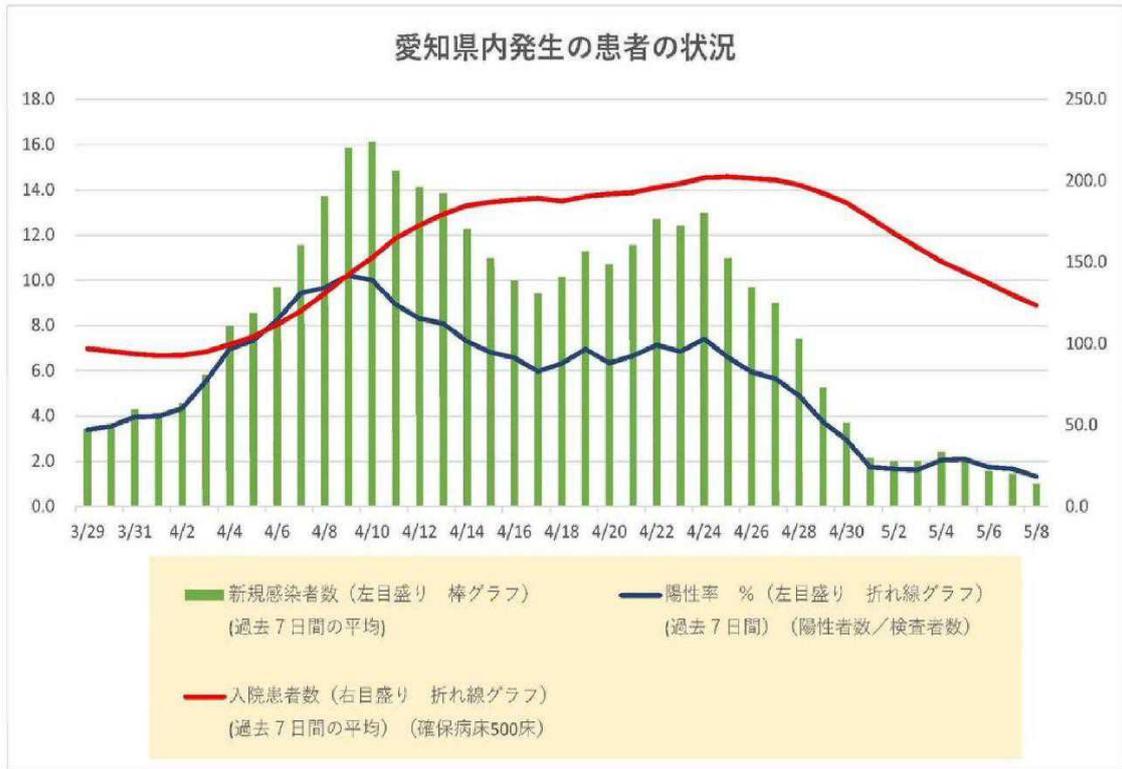


愛知県が行う休業要請などの判断指標（5月11日公表）



指 標

基準項目	注意(警戒)領域 (イエローゾーン)	危険領域 (レッドゾーン)
(1) 新規感染者数 (過去7日間の平均)	10人	20人
(2) 陽性率(過去7日間) (陽性者数/検査者数 ^{注)})	5.0%	10.0%
(3) 入院患者数(過去7日間の平均) (確保病床500床)	150人	250人

注) 陰性確認の検査を除いた人数。

- 4月25日以降感染者は、減少傾向でここ2週間落ち着いている。
- 社会・経済活動の再開に向けてその準備をしていく段階であると考えられる。
- 感染症は、第一波に続き、第二波、三波と襲ってくるのが想定される。その都度、感染症の拡大防止対策と社会経済活動をバランスよくやっていかなければならない。規制を強化したり緩めたりすることで機動的に対応していくことが求められる。
- そこで、その際の判断基準となる指標を策定。(上記)
- 新規感染者数、陽性率、入院患者数の過去7日間平均の数値を基準として、注意(警戒)領域(イエローゾーン)を1つでも上回れば、警告を発し、自粛を促すなど一部規制モードに入り、危険領域(レッドゾーン)をすべて上回れば、休業要請の徹底など厳しく規制する。

(5月10日現在 (1)1.3人 (2)1.3% (3)117.9人)

〔愛知県の状況 5月15日〕

- 愛知県は、政府の緊急事態宣言が解除されても、県独自の緊急事態宣言は5月31日まで継続する。ただし、感染状況によって期間を弾力的に判断する。
- 県民には、不要不急の外出自粛を引き続き要請。特に政府が緊急事態宣言を継続した東京や大阪への移動は避けるように求めた。
- 県は、新型コロナウイルス感染症の対処方針を発表し、居酒屋を含む飲食店の営業時間短縮や商業施設などの休業の要請を解除するとした。利用者同士の距離を空ける工夫や消毒、換気などの感染防止策の徹底を条件とした。
- パチンコ店や接客を伴うナイトクラブなどの遊興・遊技施設、スポーツクラブ、カラオケボックスなどへの休業要請は当面、継続する。これらの業種は対策や感染状況などを見極めてから解除の可否をあらためて検討する。

県民・事業者の皆様へのメッセージ（抜粋） 5月14日 愛知県知事 （略）

本県では、引き続き、感染防止対策の実施が必要であるため、県独自の緊急事態宣言の期間とした5月31日まで、緊急事態措置を継続しつつ、段階的に社会経済活動のレベルを上げていくため、学校については、18日以降の分散登校日の設定や25日からの分散登校や時差登校などを実施するほか、事業者の皆様への休業要請についても、順次、緩和することといたしました。

県民の皆様には、ご不便をおかけしますが、不要不急の外出自粛の継続をお願いするとともに、「三つの密」を回避し、「人と人の距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」など、基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」を実践していただきますようお願いいたします。

事業者の皆様には、これまでにクラスターが発生していない施設など感染リスクに応じて、順次、休業要請を緩和いたしますが、営業の再開・継続に際しては、施設毎に、入場者の制限や誘導を始め、感染防止対策の徹底をお願いいたします。

なお、これまでにクラスターが発生したことのある業態等については、今暫くの間、休業協力をお願いいたします。

今後も、感染状況と医療提供体制の確保の状況を、新規感染者数、陽性率、入院患者数により監視を続け、新たに設定した基準値を超えるなど、感染の拡大が認められた場合には、迅速かつ的確に規制による感染防止対策を講じてまいります。